



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 ベース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4481 URL https://basenet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 克成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼財務部長 (氏名) 高野 哲行 TEL 03 (5207) 5112
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	9,517	35.1	2,074	58.3	2,066	57.2	1,403	73.6
2019年12月期第3四半期	7,046	—	1,310	—	1,314	—	808	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,376百万円 (68.8%) 2019年12月期第3四半期 815百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	157.70	148.81
2019年12月期第3四半期	102.19	—

(注) 1. 2018年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、2020年6月10日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	9,721	6,513	65.3
2019年12月期	9,054	5,656	60.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 6,350百万円 2019年12月期 5,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2020年12月期	—	20.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	27.00	47.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年6月10日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。なお、当該株式分割前の基準による1株当たり配当金は、第2四半期末60.00円、期末81.00円、合計141.00円になります。2019年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,955	23.1	2,291	36.4	2,264	36.9	1,550	36.1	174.24

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は、2020年6月10日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	8,925,000株	2019年12月期	8,880,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	137株	2019年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	8,897,131株	2019年12月期3Q	7,908,000株

（注）当社は、2020年6月10日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による経済活動の低迷により、引き続き厳しい状況で推移いたしました。徐々に経済活動は再開の動きが見られるものの、欧米諸国では第2波の影響が出始めている国もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業は、企業価値や競争力向上のための「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」推進の流れが継続しており、IoT、クラウド、RPA（Robotic Process Automation、ロボットによる業務の自動化）、FinTech等の先端技術を活用したIT投資の需要が引き続き堅調に推移いたしました。ERP（注）ソリューションではSAP ERPの保守サポートが今後終了することに伴う後続製品へのアップグレード需要も追い風となっております。

一方で、業績悪化によりIT投資を含めた設備投資を一時的に控える動きも見られました。特定サービス産業動態統計（経済産業省／2020年7月分）によると、5月、6月は前年同月比で売上が減少に転じ、法人企業景気予測調査（令和2年7－9月期調査）によると、2020年度のソフトウェア投資額を含む設備投資額は、6.8%の減少見込みとなっており、投資動向の変化が表れております。

一時的にIT投資を控える動きはあるものの、政府によるデジタル庁設立の流れなど、中長期的には底堅いニーズがあると認識しており、引き続きIT投資等に対する影響を注視してまいります。

このような経営環境の下、当社では、社員及び取引先企業の安全・健康の確保及び顧客への安定したサービス提供を可能にするために、長年に亘るオフショア開発で培ったリモートでの品質管理・プロジェクト管理のノウハウを活かし、高い利益率を維持した上での成長を意識して事業活動を展開してまいりました。既存顧客を中心にリモート環境でも引き続き積極的な営業活動を行った結果、主要顧客全てで受注が好調に推移し、証券領域の大型案件のピークを迎えたこともあり、堅調に売上の拡大を図ることが出来ました。

中国子会社においては、新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着き、中国現地企業及び日系企業に対する受注が堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,517百万円（前年同期比35.1%増）、営業利益2,074百万円（前年同期比58.3%増）、経常利益2,066百万円（前年同期比57.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,403百万円（前年同期比73.6%増）となりました。

なお、当社グループは、ソフトウェア受託開発事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

（注）ERP（Enterprise Resource Planning）

企業の経営資源（会計・販売・物流・人事等）を統合的に管理・有効活用することで、経営の効率化を図るための手法・概念、また、その統合基幹業務システムを指す。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は9,721百万円となり、前連結会計年度末より667百万円増加しました。

流動資産は、前連結会計年度末より768百万円増加し、8,481百万円となりました。これは主に現金及び預金が620百万円、売掛金が201百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末より101百万円減少し、1,239百万円となりました。これは主にのれんが41百万円、投資有価証券が88百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は3,208百万円となり、前連結会計年度末より189百万円減少しました。

流動負債は、前連結会計年度末より199百万円増加し、2,867百万円となりました。これは主に未払費用が541百万円減少した一方、買掛金が221百万円、賞与引当金が579百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末より389百万円減少し、340百万円となりました。これは主に長期借入金が339百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,513百万円となり、前連結会計年度末より857百万円増加しました。これは主に利益剰余金が869百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、本日開示資料「2020年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,868,449	6,488,619
電子記録債権	2,750	—
売掛金	1,651,031	1,852,967
仕掛品	139,220	96,381
その他	51,938	43,809
流動資産合計	7,713,390	8,481,777
固定資産		
有形固定資産	21,564	29,530
無形固定資産		
のれん	114,106	73,028
その他	4,748	3,786
無形固定資産合計	118,855	76,814
投資その他の資産		
投資有価証券	826,080	737,807
その他	374,650	395,827
投資その他の資産合計	1,200,730	1,133,635
固定資産合計	1,341,150	1,239,980
資産合計	9,054,541	9,721,758
負債の部		
流動負債		
買掛金	451,212	673,180
1年内償還予定の社債	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	606,501	447,382
未払法人税等	371,116	438,229
未払費用	817,793	275,832
賞与引当金	—	579,194
その他	321,361	403,390
流動負債合計	2,667,986	2,867,210
固定負債		
社債	50,000	—
長期借入金	665,034	325,924
その他	14,930	14,930
固定負債合計	729,964	340,854
負債合計	3,397,950	3,208,064

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,153	1,041,635
資本剰余金	974,153	981,635
利益剰余金	3,396,072	4,265,499
自己株式	—	△666
株主資本合計	5,404,379	6,288,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,059	42,001
為替換算調整勘定	22,224	20,480
その他の包括利益累計額合計	111,284	62,482
新株予約権	3,000	2,778
非支配株主持分	137,926	160,330
純資産合計	5,656,590	6,513,694
負債純資産合計	9,054,541	9,721,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	7,046,278	9,517,656
売上原価	5,150,390	6,737,953
売上総利益	1,895,888	2,779,702
販売費及び一般管理費	585,794	705,243
営業利益	1,310,093	2,074,458
営業外収益		
受取利息	4,715	3,962
受取配当金	1,991	1,032
投資有価証券売却益	6,414	382
償却債権取立益	—	9,185
その他	2,124	3,859
営業外収益合計	15,246	18,423
営業外費用		
支払利息	5,950	3,587
投資有価証券売却損	99	5,997
為替差損	267	16,473
上場関連費用	4,000	—
その他	423	702
営業外費用合計	10,741	26,761
経常利益	1,314,598	2,066,121
税金等調整前四半期純利益	1,314,598	2,066,121
法人税、住民税及び事業税	474,442	638,817
法人税等調整額	15,638	613
法人税等合計	490,080	639,430
四半期純利益	824,517	1,426,691
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,375	23,575
親会社株主に帰属する四半期純利益	808,142	1,403,115

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	824,517	1,426,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,786	△47,058
為替換算調整勘定	△18,547	△2,916
その他の包括利益合計	△8,761	△49,974
四半期包括利益	815,756	1,376,716
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	806,836	1,354,312
非支配株主に係る四半期包括利益	8,919	22,403

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。